

交流センターを核に、これからの地域づくりに向けて

○これまでの経過

平成19年度に設置した「交流センター」では、各地域でさまざまな地域振興事業や社会教育活動などが行われてきました。

その後15年が経過し人口減少や少子高齢化が加速する中、地域における地域活動や住民自治機能の維持が困難になることが予想されています。

また、令和4年2月に策定された小中学校適正配置基本方針の中でも、地域と学校が連携・協働した活動の強化が必要であることを盛り込んでいます。これら

のことを踏まえ、令和4年6月1日に「安来市交流センターを核とした地域づくりのあり方検討委員会（委員長 赤坂一念）」（以下、委員会。）を設置しました。

この委員会は交流センター館長や社会教育委員、有識者など13人の委員で構成。令和4年12月までに計6回、委員会を開催し地域の拠点である交流センターと今後の地域のあり方について議論を重ね、1月25日に委員会から田中武夫市長へ報告書の提出がありました。

○報告書の概要

（1）地域づくりの方向性

- ①機動的に動けるチームをつくり、取り組みやすい課題からアクションを起こす
- ②若者が参画、活躍できる環境づくりによる地域を担う人材の育成
- ③地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する地域運営組織の設立

（2）交流センターの最適化

- ①交流センター24館は地域の活動拠点として維持
- ②住民主体で活動できる仕組みの検討
- ③住民活動を支援する調整役としての役割
- ④住民が集い活動しやすい交流の場（活動拠点）としての役割

（3）地域づくり活動に対する市の関わり

- ①市職員の積極的な関与（伴走支援体制の構築）
- ②積極的に取り組む地域への財政的支援
- ③担当課と関係部署間の連絡調整と情報共有による地域の現状や課題の共有



▲視察先で説明を受ける委員会の皆さん。川本町三原地区では地域運営組織を設立し、さまざまな活動のネットワークが拡大しています。

○今後の取り組み

今後は委員会から提出のあった報告書に基づき、地域の特色を生かしたより良い地域づくりを推進するため、次に掲げる項目を実施していきます。

（1）地域運営組織の立ち上げなどに向けた先進地視察や研修の実施

（2）課題解決に向けた取り組みなどへの助成事業の実施

（3）地域課題解決に向けた人材育成事業の実施

問い合わせ 地域振興課 TEL 23-3070



委員会委員長
島根県立大学 副学長
赤坂一念さん

地域にはそれぞれの特色があり、さまざまな資源や可能性を有しています。地域課題の解決のため、地域に暮らす各世代の住民が良好な関係性を構築し、その地域ならではの特色やメリットなどを生かし主体的に取り組むことが、各地域の魅力向上にも繋がっていきます。

地域住民や交流センター、行政等がそれぞれの特性や強みを生かし、事業に関わる人たちが「楽しさ」を見出しながら、持続可能な共働・共創の地域づくりに向かっていく機運を高めていく必要があります。

地域づくりにおいては、自助と公助を繋ぐ共助の働きが不可欠であり、交流センターこそが、その働きの中心となると言えます。各交流センター事業の存続・発展は、各交流センターの管轄する地域の繁栄にとどまらず、市全体に活気をもたらす、よりよい安来市、住みやすい安来市、住みたい安来市の実現へつながることと期待します。

共働・共創の
地域づくりに向けて

～安来市小中学校適正配置を検討しています～

子どもたちの将来のため、今考えるときです

○なぜ今、検討が必要なの？

令和の時代を生きる子どもたちの社会は、グローバル化、情報化、急速な技術革新に加え、人口減少、少子高齢化が更に進行するなど将来の変化を予測することが困難な時代といわれており、教育のあり方も新たな事態に直面しています。

加えて、校舎等の施設の老朽化も進んでおり、教育環境にさまざまな影響が生じてきています。

この状況の中、複雑で流動的な課題に対し、他者と協働しながら解決策を探り、新たな価値を生み出す「生きる力」を安来の子子どもたちに育成するため、よりよい教育環境づくりの改革として学校の適正規模・適正配置の検討をしています。

○今の状況は？

令和4年2月に策定した「安来市小中学校適正配置基本方針（以下、基本方針。）」に定めた4つの視点に基づき、20人の委員からなる安来市小中学校適正配置審議会（以下、審議会。）に基本計画（案）の策定について諮問し、令和5年8月を目途とした答申に向け議論が重ねられています。

基本方針
4つの視点

- ①令和時代に生きる子どもの「育ち」「学び」の視点
- ②学校と地域との連携・協働の視点
- ③学校施設の整備・管理の視点
- ④安来市の実態に応じた規模・配置の視点

○市民の皆さんへのお願い

今後、検討の進捗状況等を市広報紙でお知らせするほか、審議会や説明会で集約された意見などを市ホームページ（右記2次元コード）に掲載します。皆さんの学校や地域に関心をもっていただ



◀安来市小中学校適正配置の説明会の様子（比田交流センター…1月28日）。

○審議の状況は？

基本方針の4つの視点を総合的に考慮し、**小学校を現行の17校から10～13校にすることや、中学校を現行の5校から3～4校とする再編**について議論が進んでいます。

また、小中学校単位、交流センター単位および市の出前講座において、本市の教育の現状や目指すべき教育の実践に向けた小中学校の適正配置について、説明会を開催し、意見交換やアンケート調査を実施しています。

○今後は何をするの？

審議会から検討結果となる答申を受け取り、安来市教育委員会として、基本計画を検討し、決定します。

その後は、基本計画に基づき説明会を開催し、個別（学校ごと）の詳細を検討していきます。

き、本市の小中学校の将来について議論を進めていただきたいと思います。



問い合わせ 教育総務課 TEL 23-3140

安来市小中学校適正配置の検討の流れ

令和4年2月

「安来市小中学校適正配置基本方針」策定

令和5年8月

「安来市小中学校適正配置基本計画」審議会から答申

令和5年秋頃

「安来市小中学校適正配置基本計画」教育委員会で検討し決定

令和6年以降

「安来市小中学校適正配置実施計画」個別（学校ごと）の詳細を検討し、実施

